

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：事務局費

### 事業名 岐阜県立高等学校活性化推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育総務課 教育企画係 電話番号：058-272-1111(内8521)

E-mail：c17765@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,395 千円 (前年度予算額： 900 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	900	0	0	0	0	0	0	0	900
要求額	1,395	0	0	0	0	0	0	0	1,395
決定額	1,395	0	0	0	0	0	0	0	1,395

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

第3次教育ビジョン期間中より、高校の活性化について取り組んできており、引き続き、地域と一体となって学校の活性化に取り組んでいく必要がある。また、小規模校等においては、大学受験に必要な科目をすべて開講することが困難になっていくことが予想されるため、多様なニーズに対応できるよう、遠隔授業の設備や手法について研究し、岐阜県でも遠隔授業を実施できるよう準備を進めていく。

### (2) 事業内容

第4次岐阜県教育ビジョンにおいても、第3次教育ビジョン同様、「県立高校の魅力化」は重要視されることとなる。適正な入学定員設定や学科改編等、高校の具体的な活性化策を計画、発表し、高校改革に対する県民の理解を促進する。あわせて、すでに遠隔授業を実施している他県の状況について視察訪問を行うとともに、遠隔授業配信システムを提供している企業等から協力を仰ぎながら、実証・研究をすすめていく。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県立高等学校の活性化として県が主体となって推進しており、設置者である県の負担により実施

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	489	業務旅費
需用費	731	資料作成費、パンフレット印刷費
役員費	25	電話代、郵便代
備品購入費	150	PC購入代
合計	1,395	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育ビジョン（R6～10）
  - ・施策Ⅰ 「豊かな人間性」の育成
    - 4 「ふるさと岐阜」での活動を通して学ぶふるさと教育の推進
  - ・施策Ⅳ 「学びの多様なニーズに応える環境」の充実
    - 20 将来を見据えた魅力ある学校づくりの推進

### (2) 国・他県の状況

中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（R3.1.26）がとりまとめられ、新時代に対応した高等学校教育等の在り方について、高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための各高等学校の特色化・魅力化が進められている。遠隔授業については、平成27年4月の学校教育法施行規則改定により実施可能となった。すでに複数の道県において遠隔授業を実施し、卒業に必要な単位として認定している。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

遠隔授業や学科改編などの環境整備に努めながら、高校の特性に応じた各校の具体的活性化策を検討・実施し、県民の理解を促進する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

高等学校の活性化について計る指標になるものはない。活動の内容や入学志願者の数などは、その年に在籍している生徒の特質や中学生の進路希望等、複雑な要因が絡んでおり、高等学校の活性化に関する指標とすることは適さない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	ふるさと教育関連事業による活力ある高校づくり推進事業の継続 令和3年度実施の活性化策の検討、準備。 令和4年度実施の学科改編等の検討、準備。
令和 3 年度	ふるさと教育関連事業による活力ある高校づくり推進事業の継続 令和4年度実施の活性化策の検討、準備。 令和5年度実施の学科改編等の検討、準備。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	ふるさと教育関連事業による活力ある高校づくり推進事業の継続 令和5年度実施の活性化策の検討、準備。 令和6年度実施の学科改編等の検討、準備。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	今後の中学校卒業予定者数の急減の中、教育の水準向上や機会均等、産業構造や社会のニーズ等の変化に対応した県立高等学校改革が必要であるため。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) 2	検討まとめを発表することにより、県立高校活性化の方向性が明確となり、これに基づいた具体的な活性化策の検討が、各校で行われている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</li> </ul>	
(評価) 2	具体的な活性化策について学校とともに検討を進め、順次、学科改編等の具体的活性化策を発表していくこととしている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 今後、教育の水準向上や機会均等、産業構造や社会のニーズ等の変化に対応した県立高等学校改革が必要である。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後のさらなる少子化に向けて、高等学校の活性化をさらに進めていく必要がある。遠隔授業や学科改編など、生徒のニーズに応えつつ、魅力ある学校づくりに取り組んでいく。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	